

形名	DIK-1225-TK	DIK-1225-YK	DIK-1225-TJ	<防雨形>
----	-------------	-------------	-------------	-------

このたびは東芝人感センサースイッチをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

• お客様はお読みになったあと必ず保管してください。

工事店様へ

施工上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	人感センサースイッチを分解や改造したり、部品を変更しないでください。落下・感電・火災等の原因となります。
	- 人感センサースイッチの取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。取り付けに不備がありますと、落下・感電・火災等の原因となります。 - 人感センサースイッチの電源接続は、取扱説明書に従い確実に行ってください。電源接続が不完全ですと、感電・火災等の原因となります。

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	- 交流100V（50Hz、60Hz）以外の電圧で使用しないでください。過電圧を加えると人感センサースイッチや照明器具の寿命が短くなったり、加熱による火災の原因となります。 - 調光器（当社商品名コントルクスなど）による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でご使用になりますと短寿命の原因となります。 - 器具は、5℃～35℃の範囲で使用する。（火災の原因） - この人感センサースイッチは防湿形ではありません。 - 塩害地や湿気の多い場所では使用しないでください。部品の腐食や結露の原因となります。 - 振動の激しい場所や、衝撃の加わる場所では使用しないでください。破損の原因となります。 - 風の強い場所には取り付けしないでください。器具の落下やセンサーの誤動作の原因となります。

お客様へ

使用上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	人感センサースイッチに直接水をかけたり、すきまなどに針金などを差し込まないでください。人感センサースイッチの破損によるけがや感電・火災の原因となります。

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	お手入れの際は、必ず電源を切る（感電の原因）
	照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

あとからH i -マルチセンサー

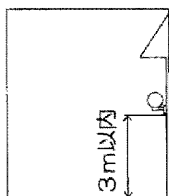
- 専用照明器具に取り付けることにより、人感センサー機能を持たせることができます。
- 人感センサーが人の動きをキャッチして自動的に点灯する機能を持っています。
- 照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
- 暗くなってからの点灯方法が選べます。
 - 消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
 - 調光点灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
 - 調光点灯で6時間待機。6時間後は消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
- 人感センサーを切って、照度センサーとしても使用できます。
- 壁スイッチの操作で連続点灯させることができます。緑色の表示灯が点灯します。

■器具を取り付ける前に

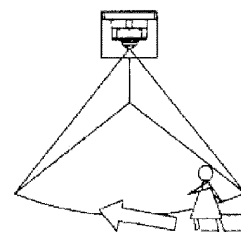
- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。（1つの壁スイッチには1台でご使用ください。）
- 調光器のついている回路ではご使用になれません。
- 取付専用の照明器具以外、取り付けることができません。
- 人感センサースイッチの性能を確保するため、照明器具の設置場所は十分検討の上決定してください。

人感センサースイッチの検知エリアを考慮して照明器具を設置してください。

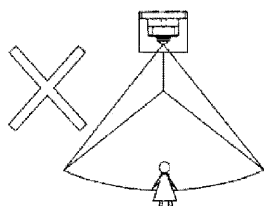
- 高さ3m以内に設置してください。



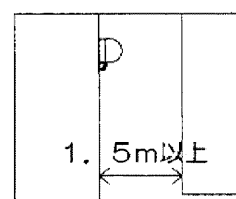
- センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



- センサー正面に向かって人が近づく様な位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



- 器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から1.5m以上離して取り付けるかもしくは人感センサー検知部の方向を調整してください。

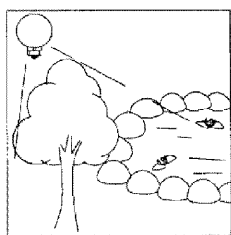


- 雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

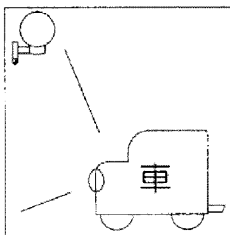
■次のような場所には取り付けないでください。

（検知しなかったり、誤作動、故障の原因になります。）

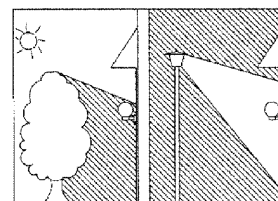
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。



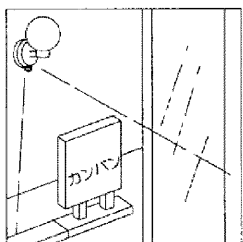
車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。



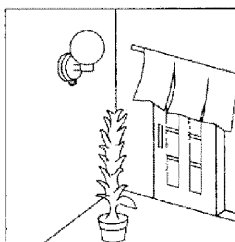
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。



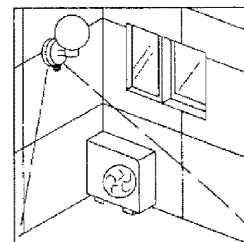
前面に障害物のある場所。
（透明なガラスでも遮断されます。）



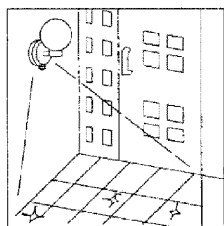
風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。



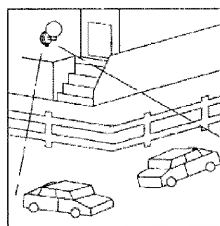
エアコンなどの排気口の近く。排気口に対向する場所。



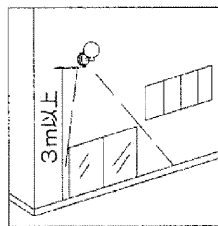
大理石など反射の強い床面のある場所。



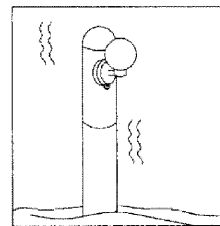
検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



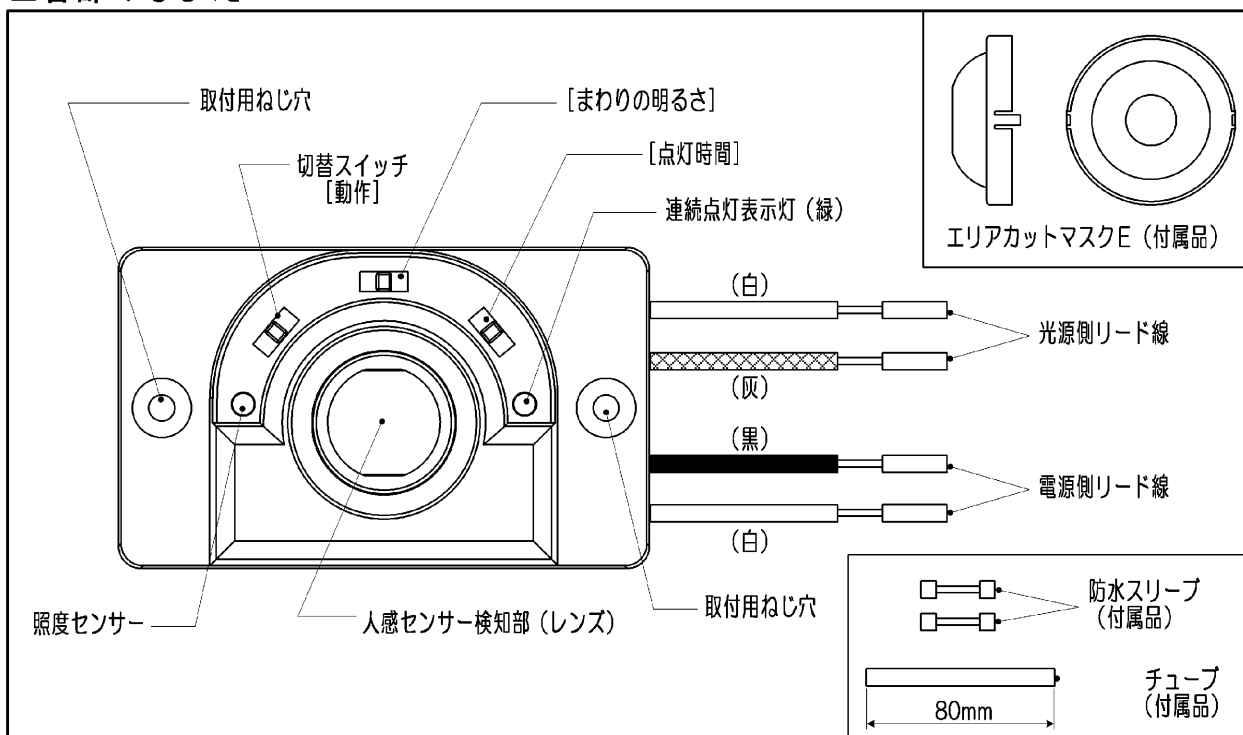
取付高さ3m以上になる場所。



振動の激しいポールなど、不安定な場所。



■各部のなまえ



■器具の取り付けかた

取付専用照明器具以外は取り付けできません。

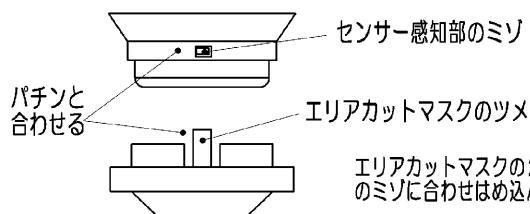


警告

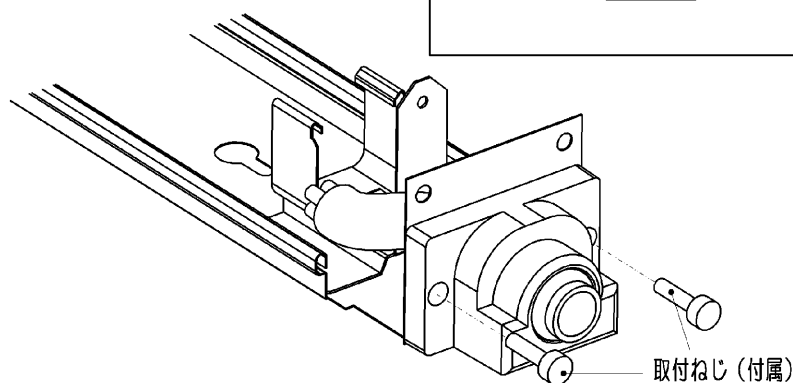
必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります。

●照明器具の姿図は参考です。

エアカットマスクEの取り付け・取り外し方

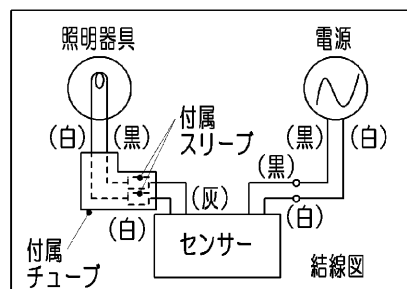


エアカットマスクの2本のツメとセンサー感知部のミゾに合わせはめ込んで取り付けてください。
取り外すときは、エアカットマスクのツメを広げるようにして軽く引っ張って取り外してください。



●照明器具への取り付け方

- ① 照明器具のねじ穴とセンサー取付用ねじ穴の位置に合わせ取付方向を確認してください。
(※逆方向には取り付けません。)
- ② 照明器具のセンサー取付用穴からセンサーのリード線をすべて入れてください。
- ③ 取付ねじ2本で人感センサースイッチを取り付けてください。
- ④ リード線に付属のチューブを挿入してください。



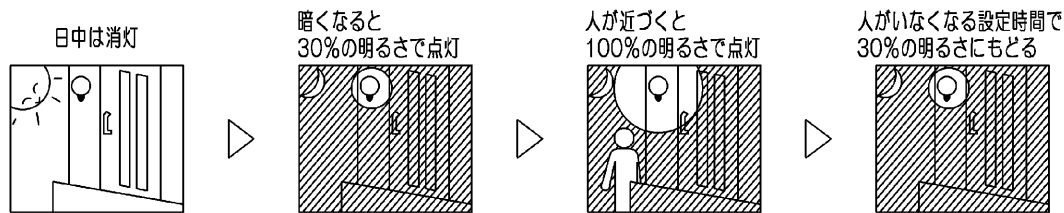
■ センサー機能について

- 人感センサースイッチの切替スイッチを組み合わせることにより、いろいろなモードに設定できます。
- 壁スイッチの操作で連続点灯（8時間）させることができます。

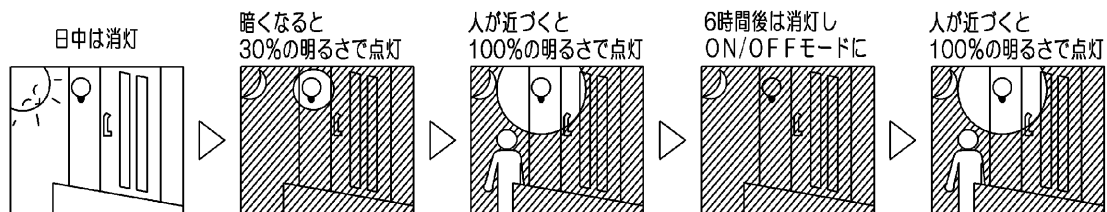
● ON/OFFモード 暗くなって人を検知した時だけ点灯させたい



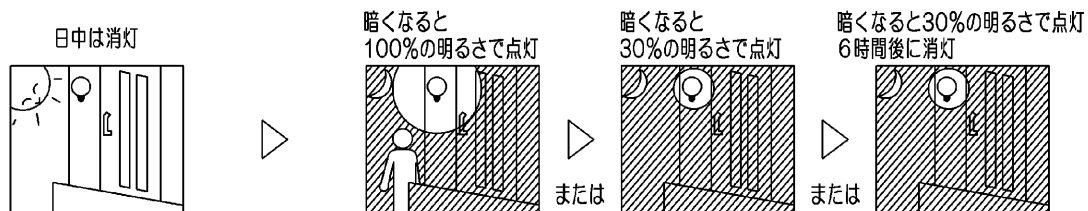
● 調光モード 一晩中ほんのり点灯して人が近づいた時は明るくしたい



● 6時間調光モード 一晩中ほんのり点灯はもったいない、でも不用心

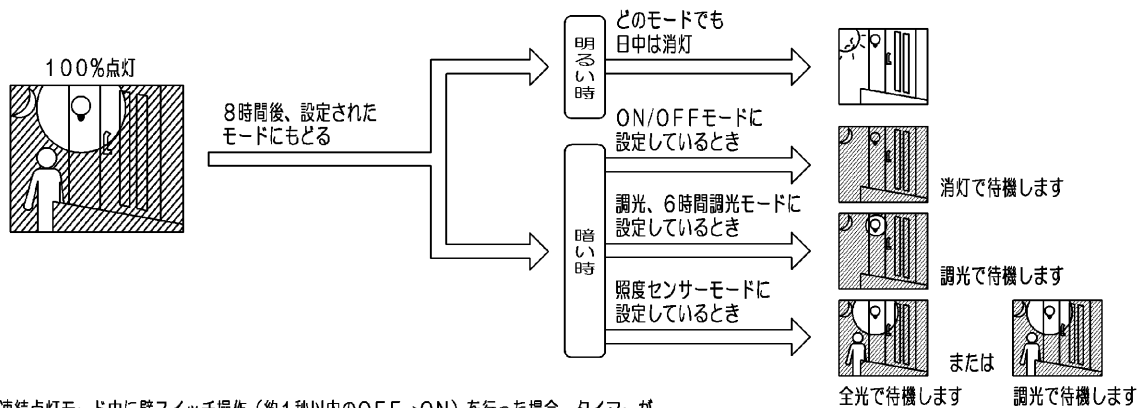


● 照度センサーモード 人の検知に関係なく一晩中点灯させたい



● 連続点灯 まわりに関係なく点灯させたい

壁スイッチを操作して連続点灯（8時間）させることができます。



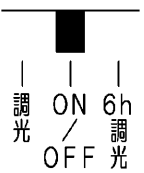
※連続点灯モード中に壁スイッチ操作（約1秒以内のOFF→ON）を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯となります。

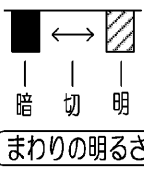
※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

■設定方法

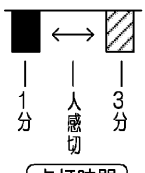
- 壁スイッチをONすると約1分間全光点灯します。その後約5秒間消灯してからセンサーが動作します。
- 使用中に切替スイッチを切り替えると、約5秒間消灯してから設定状態で動作します。（連続点灯モードは除く）

●ON/OFFモード

1. 「動作」のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。


動作
2. 「まわりの明るさ」のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。


まわりの明るさ

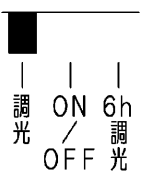
「暗」：約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約45ルクス以下となると待機状態となります。
3. 「点灯時間」のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。


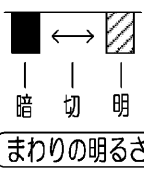
点灯時間

「1分」：約1分間点灯します。
「3分」：約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れた後、静止した後の点灯時間です。

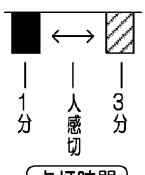
●調光モード

• 出荷時は、調光モードに設定されています。

1. 「動作」のスイッチを「調光」に設定してください。


動作
2. 「まわりの明るさ」のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。


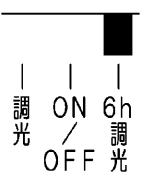
まわりの明るさ

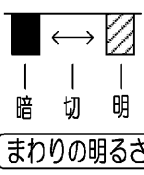
「暗」：約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約45ルクス以下となると待機状態となります。
3. 「点灯時間」のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。


点灯時間

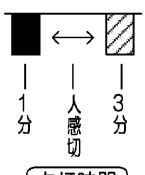
「1分」：約1分間点灯します。
「3分」：約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れた後、静止した後の点灯時間です。

●6時間調光モード

1. 「動作」のスイッチを「6h 調光」に設定してください。


動作
2. 「まわりの明るさ」のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。


まわりの明るさ

「暗」：約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約45ルクス以下となると待機状態となります。
3. 「点灯時間」のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。


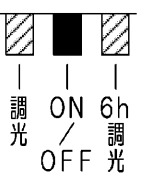
点灯時間

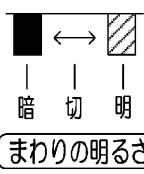
「1分」：約1分間点灯します。
「3分」：約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れた後、静止した後の点灯時間です。

●照度センサーモード

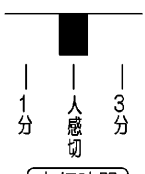
1. 「動作」のスイッチを設定してください。

「ON/OFF」：100%の明るさで点灯します。
「調光」：約30%の明るさで点灯します。
「6h 調光」：6時間、約30%の明るさで点灯します。6時間後消灯します。



動作
2. 「まわりの明るさ」のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。


まわりの明るさ

「暗」：約15ルクス以下となると点灯します。
「明」：約45ルクス以下となると点灯します。
3. 「点灯時間」のスイッチを「人感切」に設定してください。


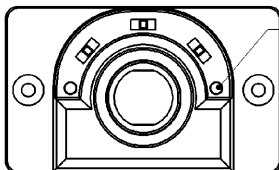
点灯時間

●連続点灯モード

• 連続点灯設定方法

1. 壁スイッチを一度OFFさせて

 2. 約1秒以内にONにする

- 連続点灯モードになると、緑色の表示灯が点灯します。
- 連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサー待機状態になります。
- 

• 連続点灯設定解除方法

1. 壁スイッチを一度OFFさせて

 2. 約2秒以上でONにする

- ※人感センサースイッチの緑色の表示灯は消灯します。

壁スイッチをONした直後は、約1分間100%点灯します。約5秒間消灯したあと、センサー待機状態となります。

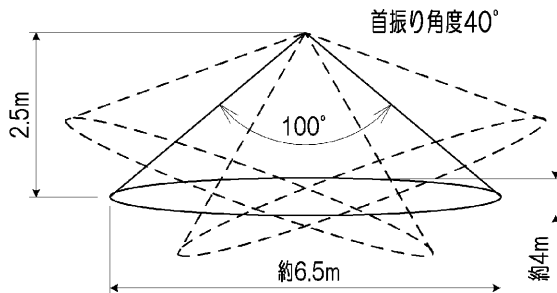
■照明器具設置後検知エリアを決定する

- 検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約5秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。
(「テストモード」へ設定は、■設定方法 ●テストモード を確認してください。)

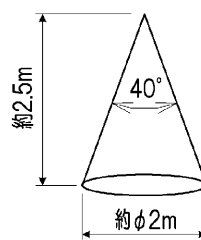
1. 切替スイッチを「テストモード」に合わせる。
2. 壁スイッチをONにします。
※壁スイッチをONにすると、約1分間全光点灯します。その後約5秒間消灯してからセンサーが動作します。
3. 人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。

検知エリア

※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)



エリアカットマスク使用時



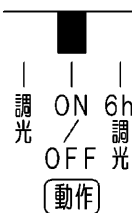
エリアカットマスクを取り付けることにより検知エリアをせまくすることができます。

■設定方法

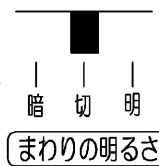
●テストモード

周囲の明るさに関係なく人を検知すると5秒間点灯します。

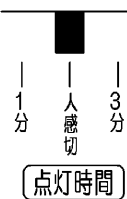
1. [動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。



2. [まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定してください。



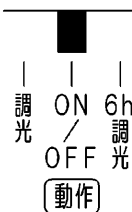
3. [点灯時間]のスイッチを「人感切」に設定してください。



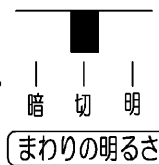
●人感センサーモード

周囲の明るさに関係なく人を検知すると点灯します。

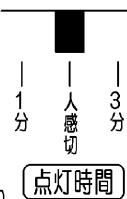
1. [動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。



2. [まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定してください。



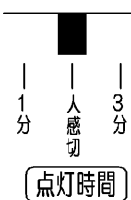
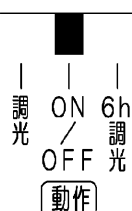
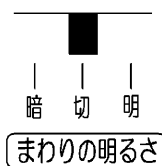
3. [点灯時間]のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。



「1分」：約1分間点灯します。
「3分」：約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れた後、静止した後の点灯時間です。

※下記スイッチの組み合わせでは動作しません

- 下記のような切替スイッチの組み合わせとすると、照明器具のランプが約0.5秒間隔で点滅します。設定を変更してください。



1. [まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定する。

2. [動作]のスイッチを「6h 調光」に設定してください。

3. [点灯時間]のスイッチはどの位置でも変わりません。

■故障かな？と思ったら

■ センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
周囲が暗くなっても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店等に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P 5
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。※4
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
人が近づいても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を検知するためコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。※1
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	スイッチの設定を変えてください。P 5
	センサーの表面に汚れが付着している。	水で固く絞った柔らかな布で軽くセンサー表面の汚れを落としてください。
	検知エリアに人が入っていない。	検知エリアの確認、調整を行ってください。P 6
	照度検知に対し、周りが明るすぎる。	設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。P 5
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
点灯したままで消灯しない。	連続点灯モードになっている。(緑の表示灯が点灯している)	センサーモードに戻してください。P 5
	電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モードになっている。	電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。P 5
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	照度センサーモードになっています。スイッチの設定を変えてください。P 5
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	検知エリア内に、常にセンサーに反応するものがある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。※2
	激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。※1
	調光、6h調光モードになっている。	[動作]スイッチを確認してください。P 5 調光、6h調光モードは約20%の明るさで点灯します。
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
人が近づかなくても点灯する。	照度センサーモードで、周囲が暗くなった。	照度センサーモードは周囲が設定より暗くなると点灯します。
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	ペットなどの動物にもセンサーは反応します。※1
	激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合があります。	検知エリアの調整をしてください。※1
	検知エリア内を車などが通る。	車の通りが激しいところでは誤作動しますので、検知エリアの調整を行ってください。※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	電源電圧の一時的で急激な変動があった。	※3
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
ランプが短寿命である。	ランプ不良の場合がある。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	電源電圧が高めである。	電圧が高いとランプ寿命が短くなります。
	振動が多い場所に取り付けてある。	振動でランプが切れる場合があります。 振動がない場所に取り付けてください。

■故障かな？と思ったら（つづき）

現象	考えられる原因	処置方法
検知エリアに人がいるのにランプが消える。	ランプが切れた。	壁スイッチをOFFにしてから交換してください。
	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動かない場合には人感センサーが検知しないためランプが消えます。 動くとも感センサーが検知しランプが点灯します。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度ランプが点灯し消灯して待機状態となります。※3
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	明るくなると消灯します。スイッチの設定を変えてください。P5
明るさに関係なく人に反応し点灯する。	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P6
明るさに関係なく点き放しになる。	誤った壁スイッチ操作や瞬時的な停電などで連続点灯モードになっている。（緑色の表示灯が点灯している。）	壁スイッチを2秒以上OFFしてから再びONしてください。設定されているセンサーモードに戻ります。P5
ランプ点滅する。	センサーの切替スイッチが設定されていない位置となっている。	切替スイッチの位置を変更してください。P5、6
	ランプの光を照度センサーが検知してしまっている。	器具設置場所を変更してください。※4

- ※1 人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化（温度変化）を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴が人感センサー表面に付着した場合や、水滴が人感センサー前面を動いても反応する事があります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いために、センサーが反応しないことがあります。
- ※2 このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は範囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままとなります。
- ※3 電源投入直後は約1分間ランプ点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約5秒間消灯してからセンサー待機状態となります。
- ※4 反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態になる場合があります。（点灯間隔は約5分）この場合、ランプ照射部分が可動できるものは床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要となります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）
FAX 0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
- セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、**「お買い上げ日」を特定できるもの**を添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 離島および離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

東芝ライテック株式会社 施設・屋外照明部 施設照明担当 〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13（南品川JNビル） TEL (03) 5479-1071
FAX (03) 5479-3393

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

001U200C